

## 鑄造 CAE(常設)研究部会 委員募集

当研究部会は、1994年に鑄造方案研究部会として常設され、「鑄造方案ルールの見直しとコンピュータ利用」、「熱・流れ制御による鑄造方案の最適化」をサブテーマとして活動を開始しました。2001年9月からは鑄造 CAE 研究部会と改名して「鑄造 CAE による現象解明と最適化」を、2006年9月から「鑄造 CAE の活用と品質向上」を、2010年7月からは「鑄造 CAE の活用と高度化」を、2015年4月からは「鑄造 CAE の活用と最適化」を、さらに2018年4月からは「鑄造 CAE による欠陥予測精度向上と最適化」をサブテーマとして活動してきました。湯流れ・凝固過程の予測計算に始まった鑄造 CAE も、今やその対象は鑄物・鑄型の変形予測や残留応力の計算、熱処理や中子砂の充てん予測など適応範囲が格段に広がっています。さらに、個別の現象のみならず、鑄造過程全体の最適化計算も視野に入れた取り組みがなされており、現在では鑄物形状・鑄造方案設計において、エンジニアリングツールとしてなくてはならない存在になりつつあります。新たな欠陥解析手法の研究開発、計算結果の検証と最適化も盛んに行われ、より現実的でより計算精度の高い方法が日々検討されています。

本研究部会では、「実測と鑄造 CAE 連携による信頼性向上」をサブテーマとします。鑄造法や材料種別にとらわれることなく、CAE(Computer Aided Engineering)の最新動向の調査、鑄造欠陥/不具合の予測手法、現象の可視化・計測と DB の整備、不明確な物性値の取得を行います。特に計算精度の検証に必要な実験データの取得に力を入れ、幅広く研究討議や情報共有を行いながら、鑄造 CAE の更なる適応性拡大と信頼性の向上について検討します。鑄造 CAE の高い実用性を目指す技術者、研究者の方々の参加をお願いします。

**部会活動期間** : 2026年4月から3年間

**構成委員数** : 約30名

**部会長** : 寺山 朗

〒737-0004

広島県呉市阿賀南2丁目10番1号

広島県立総合技術研究所西部工業技術センター 加工技術研究部

TEL:0823-74-1158 E-mail :a-terayama87929@pref.hiroshima.lg.jp

参加を希望される方は、2026年5月29日までに、部会長宛にお申し込み下さい。なお、部会委員は運営上経費の一部を負担していただくと同時に、部会での研究発表などの義務を負っていただくことになります。